



くりばら信司後援会だより

K's Voice

<http://s-kuribara.com/>

発行責任者
栗原信司
春日部市中央7-6-6
春日部ハイツ105
TEL739-1508
FAX739-1508
e-mail:www@s-kuribara.com

3月度定例議会 一般質問より

介護保険制度について！

- ①訪問サービスに不服があったときの対応について。
- ②低所得者は居宅サービスを利用する際に利用料の3%を負担することになるが、これを市で肩代わりできないか。
- ③自立と判定された方や、又は都合で介護サービスを受けられない方の対応について。
職員OBやボランティアの皆さんのお力をお借りできないか。

- ④要介護認定を受けた場合にサービスを利用すると家族介護手当が支給されなくなるのは福祉の後退につながるのでは。
- ⑤健康は予防でという観点より、市民が、安心して外出、散歩のできる街にするために、歩道を整備し「健康ロード」などと銘打ったり、散歩の途中にふと体を休めることが出来るようにベンチを歩道の日陰に用意し「ポケットパーク」など簡易な憩いの場を設けたらどうか。

市民参加のネットワーク作りを

- ①仮想市民会議について。
市内ネットワークで市民の声を聞く場を設け、仮想市民会議の開催を設けたらどうか。
- ②未成年者議会、青年議会、中高年議会、熟年議会、女性議会などを開催し、又これらに出された意見や議論の様子を公開するなど市政参加の場を設けたらどうか。
- ③各種申請書類のインターネット上での受付について。

各種申請用紙を自宅のパソコン上で手に入れることは既に各自治体でも実施しているところであり、そこで申請書類の取得のみではなくて、そのまま、申請が出来る体制にはならないものか。

- ④徘徊老人対策について。
介護保険の側面支援にも関連するが防災無線だけでは情報伝達や対策が不十分であり、今後の対策として、徘徊老人SOSネットワーク：釧路方式を取り入れることは出来ないか。